

全社員がモチベーション高く働き続けられる環境を整備

社員のライフステージに合わせた多様な支援制度

大和証券グループ

- 大和証券株式会社 人事部課長代理 西山真里氏
- 大和証券株式会社 人事部課長代理 堀江香織氏

従業員数●13,150名(連結ベース/海外含む)
所在地●東京都千代田区丸の内1-9-1 グラントウキョウ ノースタワー
業種●証券業を中核とする投資・金融サービス業

■育児休職取得者数推移

※グループ全体

年度	合計
平成 17	138 名
18	152 名
19	213 名
20	259 名
21	320 名
22	352 名
23	408 名
24	453 名
25	505 名

「仕事と育児の両立支援に取り組み始めたのは、どのようなきっかけからでしたか。平成17年から本格的に取り組み始めましたが、当時社長だった鈴木が支店を回り、現場を見て、「女性活用にもっと力を入れたほうがいい」と思ったといます。昔は証券会社は男社会のイメージでしたが、今は新しいお客様を増やし、資金を導入する仕事などに女性のきめ細かさが生きているのではないかと感じています。」

大和証券グループはリテール、グローバル・マーケット、グローバル・インベストメント・バンキング、アセット・マネジメント、投資のコア事業を中心に構成される総合証券グループ。平成24年度「均等・両立推進企業表彰」ファミリー・フレンドリー企業部門「東京労働局長優良賞」、25年度厚生労働省「キャリア支援企業表彰2013」厚生労働大臣表彰(大和証券)をはじめ数々の賞を受けるなど、ワーク・ライフ・バランスや両立支援、キャリア支援の取り組みに対する評価が高い。充実した支援制度の多様なメニューについてうかがった。

「女性結婚を機に退職するケースが減ったのは、平成19年に始まった勤務地変更制度の導入が大きいですね。夫が転勤になったら奥さんも一緒にその勤務地の近くの支店で働けるといいうものです。これまで累計で136名利用

などがあります。女性が結婚を機に退職するケースが減ったのは、平成19年に始まった勤務地変更制度の導入が大きいですね。夫が転勤になったら奥さんも一緒にその勤務地の近くの支店で働けるといいうものです。これまで累計で136名利用

「仕事と育児の両立支援に取り組み始めたのは、どのようなきっかけからでしたか。平成17年から本格的に取り組み始めましたが、当時社長だった鈴木が支店を回り、現場を見て、「女性活用にもっと力を入れたほうがいい」と思ったといます。昔は証券会社は男社会のイメージでしたが、今は新しいお客様を増やし、資金を導入する仕事などに女性のきめ細かさが生きているのではないかと感じています。」



人事部課長代理 西山真里氏

「女性結婚を機に退職するケースが減ったのは、平成19年に始まった勤務地変更制度の導入が大きいですね。夫が転勤になったら奥さんも一緒にその勤務地の近くの支店で働けるといいうものです。これまで累計で136名利用

「仕事と育児の両立支援に取り組み始めたのは、どのようなきっかけからでしたか。平成17年から本格的に取り組み始めましたが、当時社長だった鈴木が支店を回り、現場を見て、「女性活用にもっと力を入れたほうがいい」と思ったといます。昔は証券会社は男社会のイメージでしたが、今は新しいお客様を増やし、資金を導入する仕事などに女性のきめ細かさが生きているのではないかと感じています。」

「仕事と育児の両立支援に取り組み始めたのは、どのようなきっかけからでしたか。平成17年から本格的に取り組み始めましたが、当時社長だった鈴木が支店を回り、現場を見て、「女性活用にもっと力を入れたほうがいい」と思ったといます。昔は証券会社は男社会のイメージでしたが、今は新しいお客様を増やし、資金を導入する仕事などに女性のきめ細かさが生きているのではないかと感じています。」

「仕事と育児の両立支援に取り組み始めたのは、どのようなきっかけからでしたか。平成17年から本格的に取り組み始めましたが、当時社長だった鈴木が支店を回り、現場を見て、「女性活用にもっと力を入れたほうがいい」と思ったといます。昔は証券会社は男社会のイメージでしたが、今は新しいお客様を増やし、資金を導入する仕事などに女性のきめ細かさが生きているのではないかと感じています。」

